



首都圏近郊の高校探訪 IGH SCHOOL REPORT

このコーナーでは高校を探訪し、授業やクラブ活動などの様子をレポートします。

その51

今回は「**栃木県立 足利工業高等学校**」の産業デザイン科の授業を見学。

昨年、創立120周年を迎えた伝統高校。

1895年(明治28年)に開校した栃木県工業学校(実業学校)を前身とする、栃木県立足利工業高等学校。昨年2015年(平成27年)に、創立120周年を迎えた日本有数の伝統校です。足利



■創立120周年を迎えた伝統校。

は古くから織物の町として知られており、そもそも1885年(明治18年)にできた足利織物講習所が栃木県工業学校に移管されたという歴史を持っています。最寄り駅はJR両毛線「足利駅」と東武伊勢崎線「足利市駅」で、2つの駅からともに徒歩で25分ほどの場所にあります。

産業デザイン科の産学協同授業を見学。

足利工業高校には、全日制課程として機械科・電気科・産業デザイン科・電子機械科の4学科が、定時制課程に工業技術科が設置されています。



■生徒たちは補助員として活躍。

今回は産業デザイン科の生徒たちによる産学協同授業の様子、生徒たちが手がけた様々なデザイン

作品を見せていただきました。産業デザイン科科長の片山正人先生に概略をお聞きしました。「近隣の小学生たちを招いて、Tシャツにシルクスクリーンで印刷をする体験をしてもらいます。講師は地元の企業の方で、生徒たちは補助員です」



■真剣に取り組む小学生たち。

子どもたちがシルクスクリーン印刷を初体験。

小学生たちは自分で考えた図案をシルクスクリーン用の版に転写してもらい、好きな色のインクを選び、自分の手でスキージーを使ってTシャツにプリントする一連のプロセスを体験します。「これらは織物、染物の町・足利ならではの体験活動推進事業の一環として行っています。生徒たちは子ども

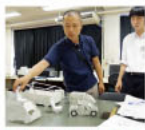
たちに教えることで、コミュニケーションの重要性を学習します」と片山先生。小学生の保護者の方たちが見守る中、オリジナルの図案やマンガのキャラクター、動物などがプリントされていきました。



■デザインからプレゼンまで行います。関連の作品、起業家精神育成事業にチームでプレゼンした課題研究、ユニークなカーデザイン、農場用パッケージデザイン&キャラクターデザイン、近隣の神社から依頼された行灯など、たくさんのデザイン作品を見せていただきました。片山先生、生徒の皆さん、ありがとうございました。

多様な産業デザインを生み出す生徒たち。

続いて、産業デザイン科生徒作品展の大型看板、ショッピングセンターでの職場実習をまとめたボード、足利工業大学と共同制作した建築計画などを見せていただきました。さらに、教室では染織デザイン



■説明中の片山先生。

【School Data】 栃木県立足利工業高等学校 〒326-0817 栃木県足利市西宮町2908-1
TEL.0284-21-1318 <http://www.tochigi-edu.ed.jp/ashikagakogyo/>